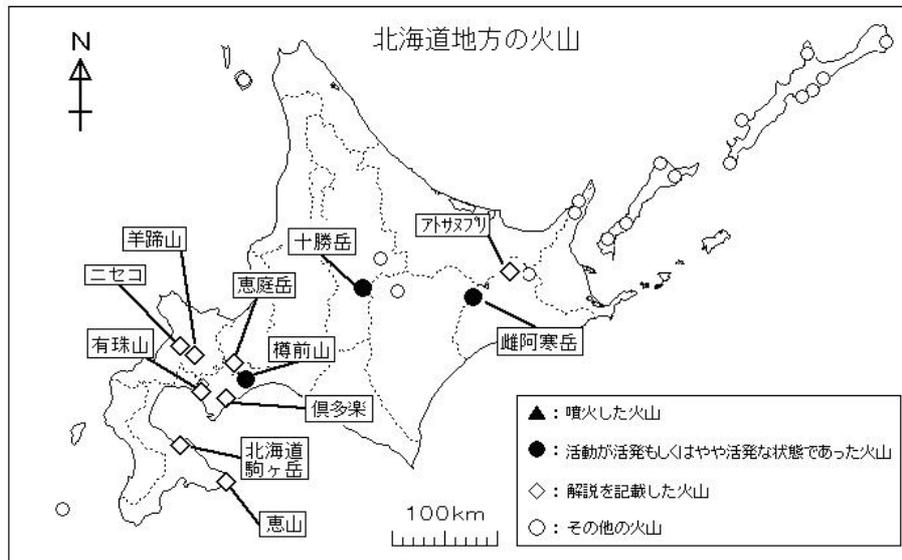


北海道地方の火山活動解説資料（平成 18 年 7 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳、十勝岳、樽前山では、引き続き火山活動はやや活発な状態となっています。

◇アトサプリ [静穏な状況]

20日に実施した調査観測では、アトサプリ（硫黄山）溶岩ドームの周辺で噴気・地熱活動が継続しています。火山活動は静穏な状態です。

25日に実施した上空からの観測^{*}では、噴気の状態や火口の状態に変化はありませんでした。火山活動は静穏な状態です。

◇有珠山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

◇羊蹄山 [静穏な状況]

25日に実施した上空からの観測^{*}では、噴気は認められず、火口の状態に変化はありませんでした。火山活動は静穏な状態です。

●雌阿寒岳 [やや活発な状況]

ポンマチネシリ山頂の赤沼 06 火口群や北西斜面 06 噴気孔列ではやや活発な噴煙活動が続いており、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

◇ニセコ [静穏な状況]

25日に実施した上空からの観測^{*}では、噴気の状態や火口の状態に変化はありませんでした。火山活動は静穏な状態です。

●十勝岳 [やや活発な状況]

62-2 火口は高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

◇北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

わずかな山体膨張や、2003年9月以来見られている昭和4年火口からの弱い噴気は引き続き観測されています。火山活動は静穏に経過しています。

●樽前山 [やや活発な状況]

A火口やB噴気孔群は高温の状態が続いており、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

◇恵山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

◇恵庭岳 [静穏な状況]

25日に実施した上空からの観測^{*}では、噴気の状態に変化はありませんでした。火山活動は静穏な状態です。

◇倶多楽 [静穏な状況]

*：北海道開発局の協力による

次の火山活動解説資料（平成 18 年 8 月分）は平成 18 年 9 月 11 日公表の予定です。この資料はホームページでも閲覧することができます（札幌管区气象台 <http://www.sapporo-jma.go.jp> 気象庁 <http://www.jma.go.jp>）。この火山活動解説資料は気象庁の他、北海道のデータも使用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）